

「埼玉発世界行き」奨学金支給事業

国際課

1 趣 旨

海外留学を支援する「埼玉発世界行き」奨学金支給事業を実施し、経済的な支援を行うとともに、海外留学に対する機運を醸成する。

2 概 要

(1) 応募・選考状況

単位：人 []は平成25年度

コース	募集人数	応募人数	奨学生数	継続人数	奨学金額
学位取得コース (海外の大学・大学院 で学位取得の留学)	15 [10]	71 [64]	15 [10]	14 [10]	上限額100万円 (世帯所得により調整あり)
協定・認定留学コース (大学間協定等による6か月 以上で単位取得の留学)	200 [200]	262 [333]	200 [200]		上限額20万円
高校生留学コース (高校在学中に3か月以上 で学校長の認めた留学)	50 [50]	81 [63]	50 [61]		上限額60万円 (世帯所得により調整あり)
計	265 [260]	414 [460]	265 [271]	14 [10]	H23 253 H24 276 H25 271 累計 1,065
			平成26年度奨学生 合計 279人		

(2) 奨学生の留学先

北米地域 134人、欧州地域 91人、アジア地域 23人
中南米地域 5人、大洋州地域 12人、

(全34か国 平成26年11月末現在)

(3) 奨学生壮行会・帰国報告会の実施

【実施日】8月4日(月)

【内 容】・知事や県議会、県産業界代表者からの激励

・奨学生代表あいさつ

・奨学生へ「埼玉親善大使」を委嘱

【奨学生参加者数】155人(うち帰国奨学生38人)

※併せてNACK5高校生海外スポーツ研修プログラム8名が参加

3 県内金融機関との提携留学ローン

【提携先】埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫

【内 容】全国最低水準の金利(2.3%)で留学生を支援

「埼玉発世界行き」奨学生フォローアップ事業

国際課

1 趣 旨

帰国した「埼玉発世界行き」奨学生等が、実社会でグローバル人材として活躍していくために、必要なキャリアアップ支援を行う。

2 概 要

(1) グローバル・リーダー研修プログラム

【内 容】 埼玉大学教養学部グローバル・ガバナンス専修課程と連携し、英語による講義や討論を中心に実施

ア グローバルな舞台で活躍するため必要な知識の習得

(グローバル・キャリア論、国際機構での課題対応方法等)

イ グローバルな舞台に必要な実践スキルの向上

(国際開発コンサルティング業務のケーススタディ等)

ウ キャリア相談

【実施時期】 9月(集中講義①1～5日、②8～12日)

10月～翌年2月(週1回 15週間)

【参 加 者】 80人

(2) グローバル人材向けインターンシップ

【内 容】 県内企業等でのインターンシップ(概ね5日間)

【実施時期】 7月～9月

【参 加 者】 37人

【受 入 先】 24社・機関

(内訳) 県内企業14社、国際関係機関等8機関、県等2団体

(3) フォローアップ事業成果発表

【内 容】 グローバル・リーダー研修プログラム及び県内企業等でのインターンシップ参加者による成果発表

【実施時期】 平成27年2月20日(予定)

グローバル人材育成センター埼玉事業

国際課

1 趣 旨

埼玉県及び海外で活躍できるグローバル人材の育成を日本人学生と外国人学生の両方を対象にワンストップでサポートするため、グローバル人材育成センター埼玉を設置運営する。

2 設置の概要

- (1) 開 設 平成25年7月1日
- (2) 場 所 浦和合同庁舎内（（公財）埼玉県国際交流協会に業務委託）
- (3) 目 的 留学支援から就職支援をワンストップで実施
- (4) 運 営 埼玉大学など県内16大学、1専門学校、埼玉県経営者協会など
5経済団体、埼玉労働局など4行政団体を構成員とする運営協議会
を設置し、最大限の効果が上がるように運営。

3 事業の概要

(1) 留学支援

- ア 海外留学フェアの開催 12月13日
- イ 外国人学生向けサイトへの情報掲載 9月～
- ウ 奨学生壮行会・帰国報告会の開催（再掲） 8月 4日

(2) 就職支援

- ア 無料職業紹介
上半期（4月～9月）のマッチング件数385件、内定40件
- イ グローバル人材向け企業面接会（第1回）
7月3日 参加企業44社 参加学生169人
- ウ グローバル人材向け企業面接会（第2回）
11月12日 参加企業14社 参加学生69人

(3) 交流促進

- ア グローバル人材埼玉ネットワークの運営（メールマガジン発行等）
※クイーンズランド日本商工会議所の訪日団受入れ 6月11日
- イ 外国人留学生と企業の交流事業（企業セミナーとボーリング）

平成27年1月17日

グローバルキャンプ埼玉事業

国際課

1 趣 旨

時間的あるいは金銭的制約から留学が困難な県民に、国内で疑似留学を体験する機会を提供することでグローバル人材を育てる。

「グローバルキャンプ埼玉」を経験した県民が海外留学を目指す。

外国人留学生在が参加することで参加者の異文化理解が進む。

2 概 要

埼玉県県民活動総合センターで4泊5日を英語教育の専門講師による指導の下、英語だけで過ごしグローバル人材としての基礎を学ぶ。

- (1) 日 程 第1回：8月19日～23日
第2回：8月26日～30日
- (2) 対 象 大学生を中心に高校生及び社会人など
- (3) 内 容 英語の能力別に3クラスに分けて講義等をすべて英語で実施
 - ア 大学レベルの講義
 - イ 異文化理解や茶道を始めとした日本文化に関する講義
 - ウ ディスカッションやプレゼンテーションの技術
 - エ プレゼンテーションと質疑応答
- (4) 参加人数 合 計 99人（うち外国人留學生13人）
 - ア 第1回 49人（うち外国人留學生7人）
 - イ 第2回 50人（うち外国人留學生6人）
 応募者数 189人 募集人数100人（各回50人）
- (5) 費用負担
 - ア 参加者 宿泊費、食事（13食分）、交流会、保険費用を負担
 - イ 県 プログラム開発費、講師料、教材費、施設使用料を負担
- (6) 受託機関
 - ア ブリティッシュ・カウンシル（ディスカッション、プレゼン等を担当）
 - イ 埼玉大学（運営及び大学レベルの講義や日本文化等を担当）
- (7) 効 果 留学の動機づけ、グローバル人材としての意識づけになった。
 - ア アンケートで98%が「とても役に立った、役に立った」と回答
 - イ グローバル・リーダー研修に15人が参加を希望し学習を継続
 - ウ 参加者から留学を希望するという話が聞かれた。

中小企業若手社員海外研修支援事業

産業労働政策課

1 趣 旨

経済のグローバル化を背景として、企業の海外での事業展開の必要性が増大している。しかし、中小企業においては、国際業務に必要な情報の不足や人材不足が課題となっている。

そこで、企業においてグローバルに活躍できる若手人材の育成を図っていく。

2 概 要

県内に主たる事業所を有する中小企業に対し、若手社員を海外企業や大学等に派遣して行う研修費用を助成。

(1) 経費の補助

ア 対 象 県内に主たる事業所を有する中小企業

イ 対象事業 44歳以下（平成26年4月1日現在）の若手社員を海外の企業・大学等に派遣して行うおおむね1年以内の研修

ウ 対象経費 渡航費用、滞在費（住居費）、研修費など

エ 補 助 率 対象経費の1/2（上限額：100万円）

オ 予 算 額 1,000万円

(2) 研修内容

- ・海外市場の視察
- ・商習慣の体験と理解
- ・海外における仕事の進め方、指導方法の習得
- ・海外の需要動向調査
- ・海外に展開している日本企業の調査
- ・先端技術の調査 など

(3) 実 績

ア 平成25年度

【交付件数】7社（8人）

【研修先国】メキシコ、中国、米国、ベトナム、タイ

イ 平成26年度

【交付決定数】5社（7人）

【研修先国】米国、タイ、インドネシア、シンガポール、フィリピン、マレーシア、メキシコ

（11月末現在）

埼玉県海外インターンシップ促進事業

産業人材育成課

1 趣 旨

県内在住・在学の大学生等を対象に県内企業の海外拠点へのインターンシップを支援し、グローバルな視野を持ち、海外で活躍できる若者の育成を目的とする。

2 概 要

(1) 経費の補助

- ア 対 象 者 県内の大学・大学院等に在籍している、又は埼玉県内在住で大学・大学院等に在籍している者。(定員：概ね20人)
- イ 対象経費 航空運賃、保険料、宿泊費等
- ウ 補助率 対象経費の1/2 (上限額：20万円)
- エ 予算額 5,945千円

(2) 実 績 (平成26年度)

インターンシップ参加学生数 20人

受入企業数 8社 研修期間 概ね2～3週間

受入協力企業 (本社所在地)	業種	海外拠点所在地
カネパッケージ㈱ (入間市)	梱包材製造	ラグナ (フィリピン)
㈱ガリバー (八潮市)	輸出入業及びインターネットによる販売	マニラ (フィリピン)
カルソニックカンセイ㈱ (さいたま市)	輸送用器具製造	上海 (中国)
サンケン電気㈱ (新座市)	電気機械器具製造	ミネソタ州 (米国)
㈱JTB関東 (さいたま市)	旅行業	バンクーバー (カナダ)
㈱秀文社 (さいたま市)	学習塾	シンガポール
㈱西武ホールディングス (所沢市)	ホテル	ハワイ州 (米国)
㈱ノムラ化成 (さいたま市)	プラスチック製品製造	バンコク (タイ)

高校生の外国体験及び語学指導等におけるネイティブスピーカーの活用

高校教育指導課

1 趣 旨

グローバル化が進展する一方、世界に積極的に出ていこうとする若者が減少するなど若者の内向き志向が指摘される中、高校生の外国体験や語学教育の充実を図ることにより、国内外のグローバル化に対応できる人材を育成する。

2 概 要

(1) 高校生の外国体験の推進

ア ハーバード大学・マサチューセッツ工科大学への生徒派遣

- ・ 参加生徒50人を選考・決定(6月)
- ・ 留学や日本の伝統文化等についての事前研修会を実施(7月2回、8月1回、9月1回、10月1回)
- ・ 2団に分けて10日間派遣(11月6日～15日・11月14日～23日)

イ 学校の独自企画による海外の大学等への短期派遣

- ・ 指定校13校を決定(4月)
浦和一女、浦和西、春日部東、久喜、久喜北陽、越谷南、草加南、常盤、所沢北、南稜、不動岡、和光国際、蕨
- ・ 各校15人～30人程度を1週間～2週間派遣(7月～8月)

ウ 学校の独自企画による海外の高校との交流

- ・ 指定校7校を決定(4月)
朝霞西、川越南、坂戸、所沢、松山女子、三郷北、和光国際
- ・ 各校15人～30人程度を1週間～2週間派遣(7月～8月)

(2) 語学指導等におけるネイティブスピーカーの活用

ア 配置人数

- ・ 県立高校44校にALT62人を配置

イ 活用内容

- ・ 日本人教員とのティーム・ティーチング等授業補助
- ・ 補助教材作成や英語検定試験、大学受験者への指導等
- ・ スピーチコンテスト、ディベート大会等の各種大会に向けての指導等
- ・ イングリッシュキャンプ、海外派遣参加生徒への指導等

実践的職業教育グローバル事業

高校教育指導課

1 趣 旨

専門高校において、各専門分野における知識、技術等の習得と、学校・学科の枠を超えたチームによる商品開発等を実施することにより、主体的に行動し、創造力、課題解決能力などのグローバル社会に必要な力を身に付けさせるなど、明日の埼玉の産業界を担う創造性に富んだ人材の育成を図る。

本事業の1つの取組として、海外の専門高校と連携した商品開発を実施し、専門高校生の目を世界に向けさせ、世界を意識した産業人材を輩出する。

2 概 要

(1) 協力企業

商品開発を進めるうえで協力企業を決定（4月）

イオンリテール株式会社（埼玉県と包括的な連携協定を締結している企業）

(2) 指定校

海外連携商品開発チームを編成し、4校（5学科）を指定校に決定（5月）

越谷総合技術高校（食物調理科、情報処理科）、杉戸農業高校（食品流通科）、皆野高校（商業系）、川越工業高校（デザイン科）

(3) 内 容

海外の連携先を台湾とし、台湾（新北市）の専門高校（そうけいこうきゅうこうぎょう か ししよくぎょう 荘敬高級工業家事職業学校）と埼玉の指定校で商品開発を行い、意見交換を重ねながら商品化を目指す。

- ・ 商品の開発（食品系で企画、インターネットTV電話やメールで連絡調整）
- ・ 商品開発についての研修会、台湾についての研修（台湾に関する理解）
- ・ 台湾への派遣（12月15日～19日 生徒15人、教員5人）
荘敬高級工業家事職業学校において、開発した商品の試作調理会、商品開発会議、交流会等を計画。台北市近郊における市場・工場見学、海外で働く日本人との意見交換、文化研修（博物館の見学等）を計画。

(4) 今後の取組

- ・ 商品発表会及びイオンショッピングモールでの販売会（2月）
- ・ 各校で成果発表（3月）

国際教養力の伸長

高校教育指導課

1 趣 旨

県教育委員会では、高校生が将来、国際的に通用する豊かな教養を身につけ、世界のリーダーと渡り合える人材へと成長できるよう、進学指導重点推進校10校の希望者を対象に、様々な機関と連携しながら取組を実施している。

2 概 要

- エーコップ
(1) 「ACOP (Art Communication Project)」 (県立近代美術館との共催)

6月8日(日)に実施

同館収蔵の絵画(「森」作ポール・デルヴォー)についての対話

指導者: 伊達隆洋氏(京都造形芸術大学)

- (2) 「古典セミナー」 (一般社団法人日本アスペン研究所との共催)

7月27日(日)、7月30日(水)、8月2日(土)に実施

『おくのほそ道』(松尾芭蕉)、『形而上学』(アリストテレス)等についての対話

指導者: 塩川徹也氏(東京大学)、橋本典子氏(青山学院女子短期大学)等

- (3) 「『ロミオとジュリエット』の上演」 (彩の国さいたま芸術劇場との共催)

8月23日(土)に実施

10回以上にわたるリハーサルでの身体表現を通した作品理解

指導者: 井上尊晶氏(蜷川幸雄氏の演出補)

- (4) 「建築家との対話」 (県立近代美術館との共催)

8月24日(日)に実施

同館の企画展「戦後日本住宅伝説－挑発する家・内省する家」で取り上げられた建築家との対話

指導者: 伊東豊雄氏(プリツカー賞等多数受賞)

- (5) 「アトリエ訪問」 (県立近代美術館との共催)

9月27日(土)に実施

彫刻家(主に木材をチェーンソーで削った抽象彫刻)の制作現場の見学及び対話

指導者: 戸谷成雄氏(紫綬褒章等多数受賞)

青少年世界へはばたけ！育成塾事業

青少年課

1 趣 旨

今後の青少年に求められる国際的な視野を養い、国際人として成長するきっかけづくりとなる講演会を開催し、「埼玉から世界に羽ばたく人材」の育成を目指す。

2 概 要

埼玉県内に在住、在学する中学生・高校生等を対象に、世界の第一線で活躍する企業人や留学経験者等の講演会を開催する。

○ 講演会の種類

(1) 海外で活躍する企業や公的機関、NPO等

一般公募と企業や団体から推薦された講師による講演

協力：(株) JTB、NHKエンタープライズ、JICA ほか

(2) 大学及び留学経験者

大学教授、留学経験者等による講演と留学ガイダンス

協力：東京大学、早稲田大学、埼玉大学 ほか

(3) 大使館発！「世界がわかる授業」

各国大使館の日本語が堪能な講師による講演

協力：駐日アメリカ大使館、駐日オーストラリア大使館 ほか

3 実施状況

○ 実施状況

29回 受講生徒数 約11,000人

淑徳与野高校（NHKエンタープライズ）、和光国際高校（アメリカ大使館）、
蕨高校（早稲田大学）、滑川総合高校（ドイツ大使館）、
武南中学校（JICA）、川越市立霞ヶ関東中学校（JTB）、
越谷西高校（オーストラリア大使館）、坂戸高校（マザーハウス）、
松山高校（浦和レッズ）、上尾市立原市中学校（キャノン株）、
秩父高校（インテル株） ほか

(11月末現在)

○ 今後の予定

10回 受講生徒数 約5,000人

引き続き、開催申込みを受け付け調整する。

埼玉県グローバル人材育成基金

国際課

1 趣 旨

海外にチャレンジする高い志を持つ若者の海外留学支援など、グローバル人材を育成する事業の財源に充てるため、「埼玉県グローバル人材育成基金」を運用する。

2 設置期間

平成23年4月1日から平成29年3月31日までの6年間

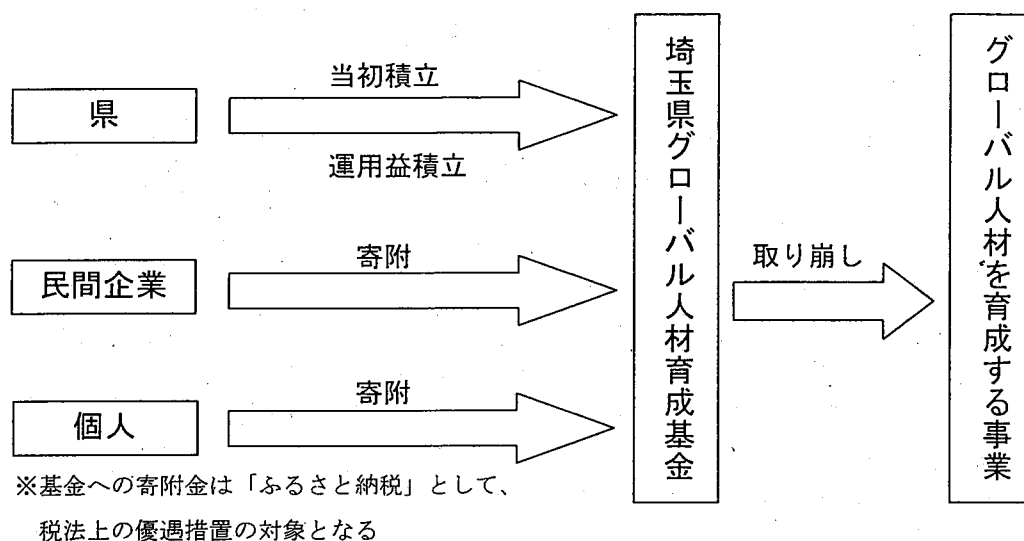
(根拠) 埼玉県グローバル人材育成基金条例

3 概 要 (平成26年度)

基金残高 (当初) 848,716千円

積立額 (予算) 10,106千円

{	内訳	寄付金	5,300千円
		運用益	4,806千円



4 基金を活用する事業 (平成26年度)

・ グローバル人材育成事業 (県民生活部)	135,455千円
⑩ グローバル人材育成センター埼玉パワーアップ事業 (県民生活部)	16,622千円
・ 高校生世界へはばたけ! 育成塾事業 (県民生活部)	1,577千円
・ 中小企業若手社員海外派遣研修支援事業 (産業労働部)	10,000千円
・ 埼玉県海外インターンシップ促進事業 (産業労働部)	4,000千円
・ 県立高校生の海外有名大学への短期派遣 (教育局)	22,680千円
⑪ 県立専門高校の高校生の海外派遣 (教育局)	4,350千円

5 寄附の実績 (平成23年7月から募集を開始)

	件数	寄附金	主な寄附者
平成26年度※	7件	101,851円	
平成23～25年度	32件	34,613,954円	(株)武蔵野銀行、(公財)遠山記念館
	39件	34,715,805円	※平成26年度は11月4日現在